

第11回地域冷暖房シンポジウム開催のご報告

当協会では、毎年「地域冷暖房シンポジウム」を開催しておりますが、今年度はその第11回を、国土交通省、経済産業省、環境省及び東京都のご後援、(社)日本熱供給事業協会他5団体のご協賛のもとに、11月15日(月)東條会館で開催し、120名以上の方々のご参加者を頂きました。

今年度のテーマは「地域冷暖房の未来を考える ---未利用エネルギー活用・ヒートアイランド対策・持続可能な街づくり---」です。

近年、大都市を中心にヒートアイランド現象が顕在化するなど、都市のサステイナビリティ(持続可能な成長)が大きな課題とされるに至っております。一方、我々の周囲には、雪の冷熱や河川水・下水、さらにはゴミ焼却やコーチェネの排熱など、未利用のままのエネルギーが多く賦存しますが、その本格的活用は今後の課題とされております。

当協会では、これを地域冷暖房に積極的に活用すべく普及・推進活動を展開することが、ヒートアイランド現象の克服、さらには持続可能な街づくりにつながると考えております。

本シンポジウムでは、その可能性を探るべく、各界でご活躍の方々をお迎えし、御専門の立場からご講演とディスカッションをお願いしました。

横浜国立大学の佐土原教授から「地域冷暖房の未来を考える」と題して基調講演を頂きました。続いて、国土交通省・徳永専門官から「地域冷暖房に関連した国の施策」についてご講演頂きました。東京都・岩佐副参事には、「再生可能エネルギーの下水道への活用」、札幌市・鈴木部長には「雪冷熱を利用した地域冷暖房」について、ご講演頂きました。さらに、熱供給事業者の立場から、堀江部長には清掃排熱利用、杉原部長にはコーチェネ排熱利用の現状等をご紹介頂きました。



横浜国立大学 佐土原教授



国土交通省 徳永専門官



東京都 岩佐副参事



札幌市 鈴木部長



東京臨海(株) 堀江部長



汐留U.E.(株) 杉原部長



ディスカッションに臨む講師の先生方



講演に聞き入る参加者の方々

シンポジウム翌日11月16日には、丸の内熱供給(株)殿の御好意により、丸の内一丁目センターで見学会を開催致しました。この秋から運転開始している最新の機器や、地下鉄の下をくぐって地下20mに設置された洞道をはじめとする、興味深い諸施設を見学させて頂きました。



会議室での施設概要説明



新型の炉筒煙管ボイラー



ターボ冷凍機(1,800RT)